

小規模企業景気動向調査

[平成28年5月期調査]

～建設業の悪化及び震災による観光業への影響により、悪化を示した小規模企業景況～

2016年6月28日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2016年5月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…建設業の悪化及び震災による観光業への影響により、悪化を示した小規模企業景況…◇

5月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は小幅の悪化となった。項目別に見ると、売上額DIはわずかに悪化、採算及び資金繰りDIは小幅の悪化となった。経営指導員からは、若干の上昇傾向にあるとの報告がある一方、前年と比較して消費が伸び悩んでいることや、建設業の動きが鈍っているとの報告があった。また、熊本地方の地震により、大型連休中の九州地方の観光業を中心に大きな影響が出ており、今後も厳しい状況にあるなどの報告があった。

<製造業> ◇…業種ごとの動きはみられるものの、方向感のない動きとなった製造業…◇

製造業の業況DIは、若干の悪化となった。項目別に見ると、売上額及び採算DIはわずかに改善、資金繰りDIは不変となった。経営指導員から、悪化材料として、①干物関連製造業で熊本地震による観光客数の減少のため売上が減少している、②繊維機械部品製造業で取引先や中国の設備投資が低調のため売上が減少している。また、好転材料としては、金属機械製造業は、受注が増加しているとの報告があった。

<建設業> ◇…人件費・原材料の高騰による採算悪化がより深刻となり、大幅悪化となった建設業…◇

建設業の業況DIは、10.3ptの大幅悪化となった。項目別に見ると、売上額及び採算DIは大幅悪化、資金繰りDIは12.0ptの大幅悪化となり、全ての項目で大幅悪化となった。経営指導員から、悪化材料として、①材料不足・人手不足により、材料費・人件費が高騰し、採算・資金繰りが悪化している、②公共工事の発注減による価格競争や技術者の確保難のため施工効率が悪化している。また、好転材料としては、リフォーム工事や小口工事など受注が増加しているとの報告があった。

<小売業> ◇…わずかながらの改善を示すが、依然低迷が続く小売業…◇

小売業の業況DIは、わずかながら改善となった。項目別に見ると、売上額DIは小幅改善、採算DIは若干の改善、資金繰りDIは小幅悪化となった。経営指導員から、好転材料として、①外国人観光客が増加し、日本製の商品の売れ行きが良好である、②耐久消費財関連で需要が継続しており好調となっている。また、悪化材料としては、①熊本地震の直後であり自粛ムードがある、②食料品小売業は製造メーカーの値上げの影響が徐々に出ているとの報告があった。

<サービス業> ◇…熊本地震による観光業への影響が大型連休に響き、大幅悪化となったサービス業…◇

サービス業の業況DIは、大幅悪化となった。項目別に見ると、売上額及び採算DIは小幅悪化、資金繰りDIは大幅悪化となった。経営指導員から、悪化材料としては、①旅行関連のサービス業では熊本地震の影響により、観光客のキャンセルが増加している、②有効求人倍率が高いが、ミスマッチがあり人手不足感がある。また、好転材料として、宿泊関連で外国人観光客を中心に施設利用が好調であるとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 19.5	▲ 21.0	▲ 1.5	▲ 14.8	▲ 13.5	1.3	▲ 13.2	▲ 20.2	▲ 7.0
採算	▲ 20.9	▲ 23.7	▲ 2.8	▲ 22.2	▲ 20.8	1.4	▲ 17.9	▲ 27.5	▲ 9.6
資金繰り	▲ 16.3	▲ 21.1	▲ 4.8	▲ 17.5	▲ 17.3	0.2	▲ 13.1	▲ 25.1	▲ 12.0
業況	▲ 23.4	▲ 27.3	▲ 3.9	▲ 19.9	▲ 20.7	▲ 0.8	▲ 19.8	▲ 30.1	▲ 10.3

業種	小売業			サービス業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 31.2	▲ 28.5	2.7	▲ 19.1	▲ 21.6	▲ 2.5
採算	▲ 29.4	▲ 28.3	1.1	▲ 14.0	▲ 18.2	▲ 4.2
資金繰り	▲ 21.6	▲ 23.9	▲ 2.3	▲ 13.0	▲ 18.2	▲ 5.2
業況	▲ 35.0	▲ 34.2	0.8	▲ 18.8	▲ 24.2	▲ 5.4

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。